

誰でもふらっと立ち寄れる コミュニティセルフカフェ「よりみち」

葛島 菜緒



■ 目的 ■

気軽に立ち寄れる場所づくりとしてコミュニティスペースを開くことで、なんとなく人とのつながりを求めている人や、自宅以外に居場所がほしい人、“誰か”と話したい人、誰かの話を聴きたい人、ほっと一息つきたい人等が、自分、そしてお互いの想いを満たせる空間を実現したいと思い、この事業の実施に至りました。

誰でもウェルカムな“カフェ”という空間にすることで、「若者×大人」「大人×子ども」「子ども×若者」等、世代や立場の壁を越えた“出逢い”や“つながり”が生まれ、様々な世界が広がっていくきっかけをつくることも目的のひとつとして考えてきました。



また長崎で活動する様々な団体(市民活動団体、ボランティア団体、NPO、企業等)の情報を提示



したり、コラボ企画を行ったりすることで、それを必要としている人の目に留まり、「各団体と利用者」や「団体同士」の“つながりづくり”や“活性化”につなげたいという思いもありました。

■ 活動内容 ■

誰もが気軽に立ち寄れるコミュニティスペースであり、人とつながれる機会、ほっと一息つける空間として月に二度場所を開きました。



この空間でそれぞれの時間を過ごす際のお供とし

て、お菓子や飲み物を提供する“セルフカフェ”形式を取ることで、よりゆっくりと過ごしていただける環境をつくりました。

またつながりづくりや活動の周知、活性化につなげるため、長崎で活動する各団体(市民活動団体、ボランティア団体、NPO、企業等)の情報をコミュニティスペース内に提示しました。

各オープン日には、ワークショップやお話会、ミニコンサートやアロママッサージ等、コラボ企画も取り入れました。



■ 活動の成果 ■

SNS(Instagram)の投稿を通して、今回の事業実施を知ってくださった長崎新聞社様に取材依頼をいただき、初回オープンの前日の新聞に記事を掲載していただいたことで、遠方からも足をお運びいただいたり、協賛金のお申込みをいただいたりと大きな反響がありました。



2024年11月～2025年2月までの4ヶ月間、計8回のオープンで、延べ118名の方にコミュニティセルフカフェ「よりみち」を利用いただきました。

さまざまな思いや状況を抱えた方々にも足を運んでいただき、「こういった場所を探していました」「必要な場所・時間です」といった嬉しいお言葉をいただきました。中には期間中何度も来店してくださった常連様や、ご都合がつかずにご

来店いただくことができなかった方もおり、引き続きの開催を望んでくださるお声もたくさんいただきました。



また「よりみち」を訪れたことでその日初めて出逢った方々が、いつの間にか仲良く話していたり、話していると実はつながっていたことがわかって喜んでいたり、「何か一緒に企画しよう!」と話が進んでいたり、まさに思い描いていた“出逢い”の空間が広がる景色を目にすることができました。

■ 今後の事業展開や感想等 ■

今回は事業を応援してくださる方に「よりみちチケット」をご購入いただくことで、ご来店いただいた方々に無料で飲食をしていただく仕組みを取り入れました。そうすることで、さまざまな事情を抱えながらカフェを利用してくださる方々から代金をいただくことなく、必要経費を賄うことができ、よりお立ち寄りいただきやすい空間をつくれたのではないかと思います。この仕組みを土台としながら少しずつ見直していくことで、自己資金によるオープンを続けていきたいと考えています。

本事業の申請時には、8日間で延べ50名の方々にご来店いただくことを目標にしておりましたが、これを大幅に上回る方々にご来店いただき、嬉しく思うとともに、改めてこういった空間に対する需要の高さや必要性を強く感じる機会となりました。みなさまの声にお応えし、これからも続けていけるよう、今後は個人でなくチームとしてこういった空間づくりに取り組んでいきたいと感じました。

